EI50

オールインプレーヤー

取扱説明書

商標と著作権

①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
③本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
④当社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負い　かねますのでご了承ください。

・ Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

はじめに

この度は E150 をお買い上げいただきありがとうございます。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」および「取扱説明書」の内容をよくお読みください。

※お買い上げ後初めて使用する場合、長時間使用しなかった場合は必ず充電してご使用ください。

注意

・ 本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
・ 本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
・ 本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。
・ 記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

ユーザー登録でさらに安心！ http://www.iriver.jp/support/

目次

安全上のご注意

　ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

　この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注 意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警　告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災·感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。

●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

●風呂場・シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

●雷が鳴り出したら、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

⚠ 警　告

●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・故障・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

●万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

●この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

●この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理はサポートセンターにご依頼ください。

●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

分解禁止

⚠ 注　意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・故障・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・故障・感電の原因となることがあります。

●イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

●再生する前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機をスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。

●自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。

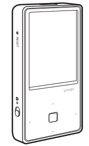
●大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。

●カバンやポケットに入れて、持ち運ぶ際、ディスプレイや外装が破損する場合がございます。ご注意ください。

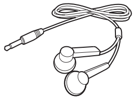
ご使用前に確認していただきたいこと

付属品の確認

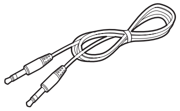
パッケージの内容は予告なく変更される場合があり、図とは異なる場合があります。



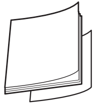
E150本体



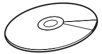
イヤホン



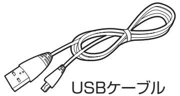
ライン入力ケーブル



クイックスタートガイド／保証書／取扱説明書



インストールCD

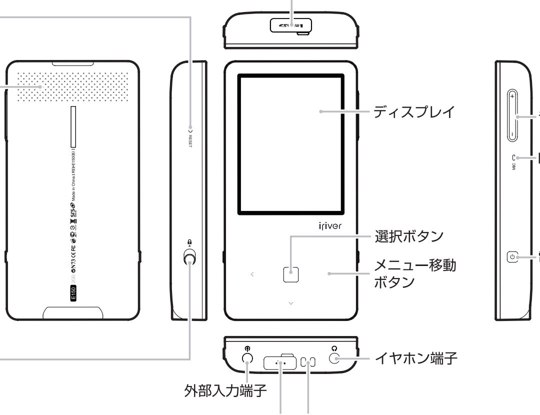


USBケーブル

＊ 8cm に非対応の CD-ROM ドライブでは使用しないでください。収録されているアプリケーションは、iriver の Web サイトからユーザー登録後、ダウンロードが可能です。

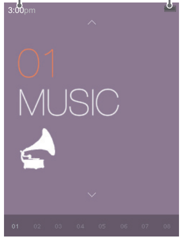
各部の名称

本体



メインメニュー画面

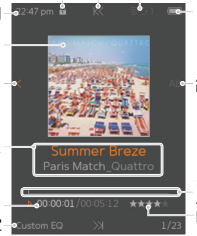
電源を入れるとメインメニュー画面が表示されます。



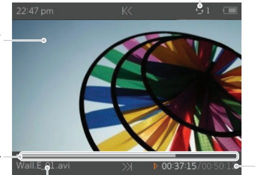
＊メインメニュー画面は、デザインを切り替えることができます。P.40 の「SETTING」→「画面」→「テーマ」をご覧ください。

各画面

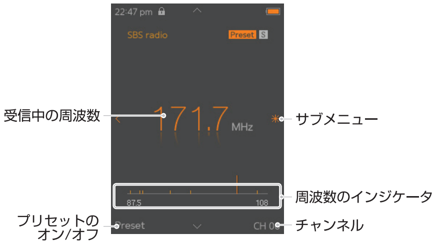
【音楽再生中】



【動画再生中】



【FM放送受信中】

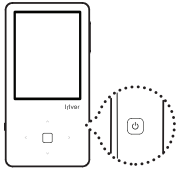


【ボイス録音中】



基本の操作

電源のオン／オフ



■ 電源のオン

⏻ ボタンを２～３秒押すと電源が入ります。

■ 電源のオフ

再度 ⏻ ボタンを２～３秒押すと電源が切れます。

＊本製品はバッテリーの消耗を防ぐため、自動電源オフ機能があります。P.40 の「SETTING」→「タイマー」→「自動電源オフ」をご覧ください。

＊画面表示言語について
工場出荷時の設定によっては、画面表示が英語などの他国語に設定されている場合がありますので、日本語設定にしてください。P.42 の「SETTING」→「言語」→「メニュー言語」および「国家」をご覧ください。

メニューの切り替え

① 電源を入れると、メインメニュー画面が表示されます。

＊各メニューを選択または設定中にメインメニュー画面に戻る時は、⁚ を長押しします。

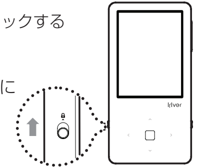
② ∴ / ∵ ボタンでメニュー画面を切り替え、□ または ⁚ で選択します。

ホールド機能とリセット機能

■ホールド機能

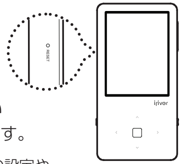
誤操作を防ぐため、ボタンをロックすることができます。

①ホールドスイッチを矢印方向にスライドさせるとロックされます。
②矢印と反対方向へスライドさせるとロックが解除されます。



■リセット機能

E150 が正常に動かなくなった場合に、強制的に再起動することができます。



①クリップなど先の尖っていないものをリセット穴に挿し込みます。

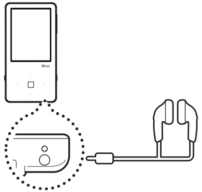
＊リセットを実行しても日付／時刻の設定や内部メモリのデータは削除されません。

接続・充電

初めに充電をしてからお使いください。充電は付属の USB ケーブルを使って E150 とパソコンを接続して行います。

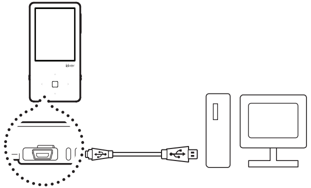
イヤホンの接続

①イヤホン端子にイヤホンを接続します。



E150 とパソコンを接続する

① E150 とパソコンの電源をオンにし、付属の USB ケーブルで E150 とパソコンを接続します。



充電について

パソコン側と正しく接続されると画面に「USB を接続中です／ USB Connected」と表示され、充電と下記の操作ができます。

接続中は下記の３つの接続方法を選ぶことができます。

充電＆データ転送 **Power&Data**	充電をしながら E150 へファイル転送をします。E150 の操作はできません。
充電＆再生 **Power&Play**	充電しながら E150 の操作が同時にできます。データ転送はできません。
充電専用 **Power Only**	充電のみ

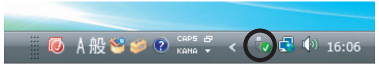
＊ 表示が消える前に接続方法を選択しないと自動的に“充電 & データ転送”が選択されます。

充電に関する注意事項

・付属の USB ケーブル以外のケーブルは使用しないでください。誤動作の原因となります。
・USB ケーブルは、パソコン本体の USB ポートに直接接続してください。USB ハブや周辺機器付属の USB 端子を使用した場合、十分な充電ができない場合があります。パソコンの USB2.0 規格の端子を使用してください。
・パソコンがスタンバイモードに移行すると、E150 の充電が行われないことがあります。
・室内で充電を行ってください。室外など極端に温度が高いまたは低い場所では、充電が正常に行われない場合があります。
・約 3.5 時間で充電完了します。E150 を使用しながらの充電は、さらに時間を要する場合があります。

E150 をパソコンから取り外す

① パソコンのタスクバーのアイコンをクリックし、「ハードウェアのな取り外し」を使用して E150 を取り外します。



②「USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します」をクリックします。

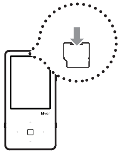
③ E150 と USB ケーブルを取り外します。

＊ タスクバー上のアイコンは、オペレーティングシステムによっては表示されない場合があります。隠れているアイコンを表示するには、「<」をクリックします。
＊ Windows Explorer や Windows Media Player などのアプリケーションが実行されている間は、「ハードウェアの安全な取り外し」が実行できない場合があります。すべてのアプリケーションを終了してから「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してください。
＊「ハードウェアの安全な取り外し」が正しく実行できない場合は、数分後に再実行してください。「ハードウエアの安全な取り外し」を使用しないで取り外した場合は、メモリの情報が消失されることがあります。
＊「 充電＆再生 」「 充電専用 」を使用している場合や転送方式を MTP（P.41）に設定の場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンが表示されません。そのまま E150 を取り外してください。

microSDカードを利用する

microSD カードの挿し込み / 取り出し

① E150 の電源をオフにし、microSD カードスロットのカバーを開けます。
② microSD カードを挿入し、矢印の方向へ軽く押します。
③ microSD カードを取り出すには、再度軽く押します。



＊ microSD カードは SDHC 8GB まで対応。
＊ microSD カードは別売りです。
＊ microSD カードへの転送速度はパソコン環境によって異なります。
＊ microSD カードメーカーによってカードの厚みが異なる為、カバーが閉まらない場合があります。

microSD カードに関する注意事項　データの消滅や故障の原因となります。

・microSDカードを挿入する際、過度の力を加えないでください。
・microSDカードへデータを転送中は、カードを取り外さないでください。
・microSDカードを挿し込み・取り外しを繰り返ししないでください。
・microSDカードのフォーマット中は電源をオフにしたり、カードの取り外しをしないでください。
・E150がmicroSDカードを認識しないなどの不具合がある時は、カードを初期化してください。
・microSDカードを初期化すると記録したすべてのデータが消去されます。大切なデータはバックアップをお取りください。
・パソコンで2GB以上のmicroSDカードをフォーマットするときは、FAT32システムで初期化してください。
・消去されたデータは復活できませんので、ご注意ください。

リムーバブルディスクとして使用する

E150 は､パソコンの「 コンピュータ 」（または「 マイコンピュータ 」）にリムーバブルディスクとして表示される「E150」内のデータフォルダに、各種データファイルの保存や削除、フォルダの作成などができます。容量の大きいデータファイルを持ち運ぶときなどにご利用ください。

ファイルの保存／コピー／削除

① 付属の USB ケーブルで E150 とパソコンを接続します。
② E150 がコンピュータにリムーバブルディスクとして表示されます。
③ リームバブルディスク内の各フォルダにファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーします。

音楽	E150→Musicフォルダ
動画	E150→Videoフォルダ
画像	E150→Picturesフォルダ
テキスト	E150→Textフォルダ

④ 削除する場合は、削除したいファイルを選択し、右クリックで表示される「削除」を選択します。

ファイルのコピー／削除の注意事項

・E150 から削除したファイルはごみ箱に残らず、すぐに消去されます。
・ファイルコピー中は、電源をオフにしたり、USB ケーブルを外したりしないでください。ファイルの消滅や故障の原因となります。

音楽を聴く

準備 音楽ファイルは iriver plus3 を使用して、パソコンから E150 へ転送します。
＊転送方式 (P.41) が MSC(UMS) になっていることを、ご確認ください。
＊可逆圧縮 WMA には対応しておりません。

音楽を再生する

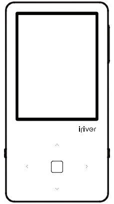
ボタン操作 メインメニュー [MUSIC] □

①メニューから選曲方法を ∴ ∵ で選択し、□ または ⁝ を押します。

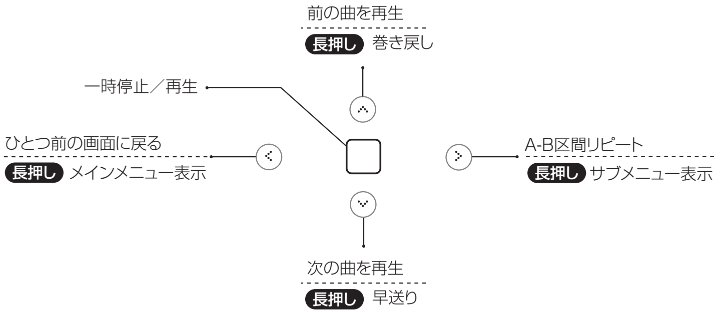
すべて	すべての曲のタイトル
アーティスト	アーティスト名→曲のタイトル
アルバム	アルバム名→曲のタイトル
ジャンル	ジャンル名→曲のタイトル
マイプレイリスト	iriver plus3 で作成したプレイリスト
ディレクトリリスト	[Music] フォルダ内のフォルダごとに表示　内部メモリ / 外部メモリ（SD 挿入時のみ）
録音ファイル	ボイス録音リスト／ FM 録音リスト／外部入力録音リスト (P.34 の[録音する]をご覧ください)
ブックマークリスト	［ブックマーク登録］を設定した曲の一覧（P.17 の［ブックマーク登録］をご覧ください）
自分の評価	［順位設定］で設定した評価ごとの曲の一覧（P.17 の［順位設定］をご覧ください）

＊ microSD カードを挿入した時は、［ディレクトリリスト］→［外部メモリ］から選曲できます。

＊ [Music] フォルダ以外の音楽ファイルを再生するには、ファイルマネージャーから再生してください。
② 再生する音楽ファイルまたはプレイリストを ∴ ∵ で選んで、□ または ⁝ を押します。



■再生中の基本操作



＊音量は再生中、右側面の音量ボタンで調整できます。

■再生中の音楽の A から B までを繰り返し再生する <A-B 区間リピート >

① 音楽再生中に を押して、開始点（A）を指定します。

② もう一度 を押して、終点（B）を指定します。

＊画面に「AB」が表示され、A-B 区間の再生が繰り返し再生されます。P.17 の［区間リピート繰り返し］設定をご覧ください。

＊リピートを解除するときは、 を押します。

サブメニュー

ボタン操作 音楽再生中に 長押し

■再生画面でのサブメニュー

再生モード

音楽の再生モードを設定します。

		画面表示
通常再生	対象の曲を続けて再生	（なし）
リピート	対象の曲を繰り返し再生	
1 曲リピート	1 曲を繰り返し再生	1
シャッフル	ランダムな順番で再生	
シャッフル+リピート	ランダムな順番で繰り返し再生	

＊内部，外部メモリをまたいでシャッフル再生はできません。

学習モード

再生中に で設定した秒数だけ、巻き戻し / 早送りできます。

オフ /3/10/20/30/60/120/180 秒

EQ 選択

再生される音質を設定できます。設定した EQ は画面に表示されます。

Normal	癖のない標準的な設定
Rock	ロックに適した、ボーカルを強調する
Pop	やや重低音を増強しリズムパートを強調
Classic	クラシック音楽に適した設定
Soft	柔らかな高音
Jazz	ピアノの音を美しく、透明感ある音質
DBB	低音を強調（Dynamic Bass Boost）
カスタム EQ	［サウンド設定］で変更したカスタム EQ を使用する
SRS WOW HD	音響に立体感を持たせる 3D サウンドモード

＊ SRS を選択した場合のエフェクトの種類を設定します。P.16 の［サウンド設定］→［SRS WOW 設定］をご覧ください。

サウンド設定

カスタム EQ

周波数帯ごとにレベルを調整し、独自の音響効果を設定します。

＊［EQ 選択］で［カスタム EQ］を指定して利用します。

＊音声ひずみを避けるため、レベルを高く設定しないでください。

：周波数帯の選択（50 / 200 / 1K / 3K / 14K）

：レベルの増減

SRS WOW

サウンドの立体感を強調する SRS WOW の効果を、5 種類の項目で設定できます。

SRS	サウンドの立体感［1 ～ 10］
TruBass	低音強調の値［1 ～ 10］
Focus	サウンドの鮮明度［1 ～ 10］
WOW	SRS、TruBass、Focus の 3 つの技術を融合した設定［1 ～ 7］
Definition	広域の音を補正する［1 ～ 10］

＊［EQ 選択］で［SRS WOW HD］を指定して利用します。

＊音声ひずみを避けるため、レベルを高く設定しないでください。

フェードイン

小さい音量で再生を開始し、徐々に音量が大きくするように設定できます。再生したときに突然の大音量を防ぐことができます。［オン / オフ］

はじめに Music >> Videos Pictures FM Radio Texts Recordings File Manager Settings

繰り返し回数（A-B 区間リピート）

A-B 区間リピートで設定した区間を何回再生するか設定します。［1 ～ 10，∞回］

繰り返し間隔（A-B 区間リピート）

A-B 区間リピートで設定した区間を連続再生するときの次の再生までの間隔を設定します。［1 ～ 7 秒］

検索速度

早送り／巻き戻しの速度を設定します。

［2X（2 倍速）/4X（4 倍速）/8X（8 倍速）/16X（16 速）/32X（32 倍速）］

歌詞表示

音楽ファイルに歌詞情報がある場合のみ、歌詞表示します。［オン / オフ］

順位設定

楽曲に自分の評価を、★の数（★～★★★★★）で設定します。

ブックマーク登録

再生中の曲の任意の位置をブックマークに登録します。（→［ブックマークリスト］から再生します）

ファイル削除

選択した曲を削除します。（削除したファイルは元に戻りません）

ファイル情報

選択した曲の情報を表示します。

■再生画面に戻る

再生中に他の楽曲を探したり、サブメニューで設定をした後などに再生画面に戻る場合は を押します。

■音楽と画像を同時に楽しむ

音楽の再生中に［画像］メニューに移動して、画像の表示やスライドショーを実行することができます。

■連続再生時間について

約 17 時間（128Kbps、MP3、ボリューム 20、EQ Normal、画面オフの場合）

動画を見る

準備 動画ファイルは iriver plus3 を使用して、パソコンから E150 へ転送します。

動画を再生する

ボタン操作 メインメニュー［VIDEO］□

①メニューから選択方法を で選択し、□ または を押します。

すべて再生	すべての動画を再生
ディレクトリリスト	［Video］フォルダ内のフォルダごとに表示 内部メモリ / 外部メモリ（SD 挿入時のみ）
ブックマークリスト	［ブックマーク登録］を設定した動画の一覧（P.22 の［ブックマーク登録］をご覧ください）

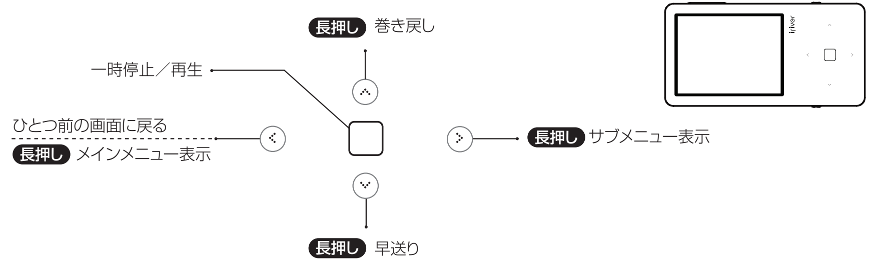
＊ microSD カードを挿入した時は、［ディレクトリリスト］→［外部メモリ］から選択できます。

＊［Video］フォルダ以外の動画ファイルを再生するには、ファイルマネージャーから再生してください。

＊対応ファイル形式：AVI / WMV

② 再生する動画を ∴ ∵ で選んで、□ または ⁝ を押します。

■再生中の基本操作



＊音量は再生中、右側面の音量ボタンで調整できます。

■再生時の画面とボタン操作について

動画の再生を開始すると、画面表示とボタン操作が 90 度回転します。音楽再生時とはボタン操作が異なりますのでご注意ください。

はじめに Music Videos >> Pictures FM Radio Texts Recordings File Manager Settings

サブメニュー

ボタン操作 動画再生中 ⁝ 長押し

再生モード

動画の再生モードを設定します。

		画面表示
通常再生	1 つの動画を再生	（なし）
リピート	全ての動画を繰り返し再生	⟳
1 曲リピート	1 つの動画を繰り返し再生	⟳1

検索速度

早送り／巻き戻しの速度を設定します。

[2X（2 倍速）/4X（4 倍速）/8X（8 倍速）/16X（16 速）/32X（32 倍速）]

レジューム

再生位置を設定します。

オン：前回視聴した位置から再生します。

オフ：動画ファイルの最初から再生します。

次のファイル再生

動画ファイルの連続再生をオン / オフします。

ブックマーク登録

再生中の動画をブックマークに登録します。（→［ブックマークリスト］から再生します）

ファイル削除

選択したファイルを削除します。（削除したファイルは元に戻りません）

ファイル情報

選択したファイルの情報を表示します。

画像を見る

準備 画像ファイルは iriver plus3 を使用して、パソコンから E150 へ転送します。
＊転送方法は、P.50 の「音楽ファイル等を E150 へ転送する」を参照してください。

画像を表示する

ボタン操作 メインメニュー [PICTURE] □

①メニューから選択方法を ∴ ∵ で選択し、□ または ⁝ を押します。

すべて再生	すべての画像を再生
ディレクトリリスト	[Picture] フォルダ内のフォルダごとに表示 内部メモリ / 外部メモリ (SD 挿入時のみ)
画像プレイリスト	iriver plus 3 で作成した、画像再生リストを表示

＊対応ファイル形式：JPG / BMP / PNG / GIF

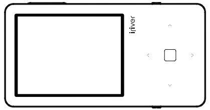
② 表示する画像を選んで、□ または ⁝ を押します。

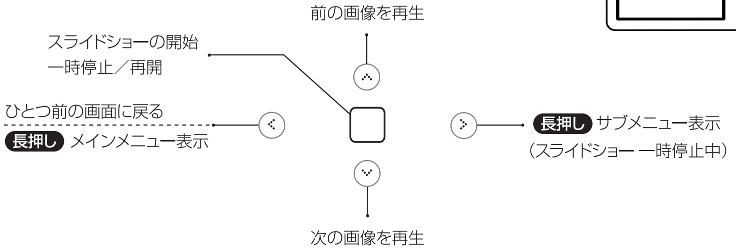
＊音楽を再生中に、画像の表示またはスライドショーを実行することができます。
＊ microSD カードを挿入した時は、［ディレクトリリスト］→［外部メモリ］から選択できます。
＊［Picture］フォルダ以外の画像ファイルを表示するには、ファイルマネージャーから表示してください。

■再生時の画面とボタン操作について

画像の再生を開始すると、画面表示とボタン操作が 90 度回転します。音楽再生時とはボタン操作が異なりますのでご注意ください。

■表示中の基本操作





■スライドショー

プレイリストの各画像ファイルを、自動的に切り替えながら表示します。

① 画像の表示中に □ を押すと、スライドショーを開始します。

② スライドショーの再生中に、再度 □ を押すと一時停止します。

サブメニュー

ボタン操作 画像の表示中 ▷ 長押し

＊スライドショー中はサブメニューは表示されません。スライドショーを停止してから行ってください。

画像表示時間

スライドショーの実行時に、各画像が表示される時間を指定します。[1 秒 /3 秒 /5 秒 /7 秒 /9 秒]

画像の回転

画像の方向を設定します。[90 度 /180 度 /270 度]

ズーム

表示中の画像を拡大示します。△ ▽ ◁ ▷ で表示する位置を変更します。□ を押すと元のサイズに戻ります。

＊画像解像度が充分でない場合、ズーム機能が働かない場合があります。

ファイル削除

選択したファイルを削除します。(削除したファイルは元に戻りません)

ファイル情報

選択したファイルの情報を表示します。

FM 放送を聴く

準備 **受信する放送局をあらかじめ登録（プリセット）しておくことができます。**

＊ P.28「よく聴く放送局を登録する（プリセット）」をご覧ください。

＊FM 放送を受信するには、放送局をあらかじめ登録しておき、その中から選局する方法（プリセットモード）と、周波数を手動で合わせて選局する方法があります。

＊日本国内で FM 放送を受信するには、サブメニューの［FM 地域設定］で［日本］を選択します。P.30 の［FM 地域設定］をご覧ください。

FM 放送を受信する

ボタン操作 メインメニュー［FM RADIO］□

＊E150 はイヤホンコードをアンテナとして使用します。受信状態を良くするためにイヤホンコードをなるべく長く伸ばしてお聴きください。

＊ステレオ受信している場合でもノイズが入る場合には、受信環境を変えてお試しください。

■手動での選局

① □ を押して、プリセットモードを解除します。

プリセットモード	あらかじめ登録した放送局から選ぶ（画面右上の「Preset」が点灯）
プリセット解除	手動で周波数を合わせる（画面右上の「Preset」が消灯）

② ∴ ∵ を押して、放送局の周波数に合わせます。

＊ ∴ ∵ を短く押して放すと、周波数を 0.1MHz ずつ変更します。
∴ ∵ を長押しすると、受信可能な放送が見つかるまで、自動的に周波数を変更しつづけます。

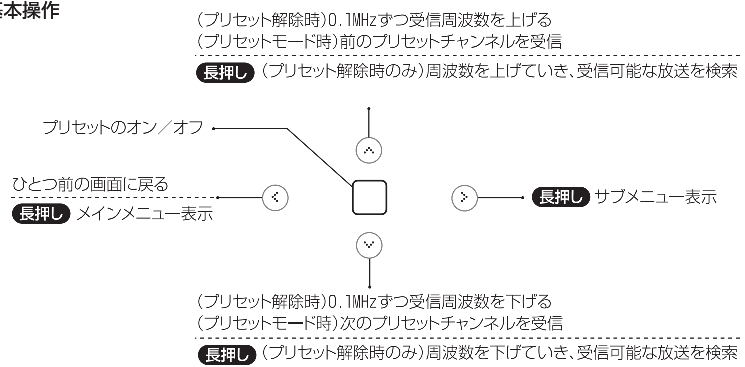
■プリセットモードでの選局

① □ を押を押して、プリセットモードを選択します。

② ∴ ∵ を押して、プリセットした放送局の中から選びます。

＊∴ ∵ を押すごとに、プリセットした放送局を切り替えます。

■受信中の基本操作



よく聴く放送局を登録する（プリセット）

プリセットには最大 20 局まで登録できます。

■自動でプリセットを登録する（オートプリセット）

ボタン操作 FM 放送受信中 長押し、[オートプリセット]

FM 放送の全周波数を検索して、受信できた放送を順次プリセットに登録します。

① FM 放送の受信中に、 を長押ししてサブメニューを表示します。

② サブメニューの［オートプリセット］を選択して を押します。
オートプリセットが開始されます。

＊オートプリセット中に を押すと中断します。

③ オートプリセットが終了すると、サブメニュー画面に戻ります。

■手動でプリセットを登録する

ボタン操作 FM 放送受信中 長押し、［プリセット登録］

① プリセットモードになっている場合には、 を押して解除します。

＊プリセットモードを解除すると、「Preset」の表示が消灯します。

② 登録したい放送局を受信してから、 を長押ししてサブメニューを表示します。

③ サブメニューの［プリセット登録］を選択して を押します。

はじめに Music Videos Pictures FM Radio Texts Recordings File Manager Settings

④ 表示されるプリセットチャンネル一覧から、 で登録したいチャンネルを選択し、 を押します。

⑤ 選択したプリセットチャンネルに、受信中の放送局が登録されます。

FM 放送を録音する

ボタン操作 FM 放送受信中 長押し、［録音］

① FM 放送の受信中に、 を長押ししてサブメニューを表示します。

② サブメニューの［録音］を選択して を押して録音を開始します。

＊録音中に を押すと一時停止／録音再開できます。

＊録音を開始すると、録音ファイルが自動的に作成されます。
内部メモリに保存した場合は、TUNERYYMMDDXXX.WMA（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音終了後に変更可能です。P.37 の［録音する］→「録音したファイルの名前を編集する」をご覧ください。

③ 録音中に を押すと録音を終了します。

＊録音中は音量の調整ができません。

＊メモリの空き容量が少なくなると、録音は自動的に止まります。

＊ FM 放送受信中 長押し→［FM 録音品質］で、録音時の音質を設定できます。P.30 の［FM 録音品質］をご覧ください。

＊録音したファイルは［ファイルマネジャー］の［内部メモリ］→［Recordings］→［FM Radio］に保存されます。

＊録音したファイルの再生／削除は、P.38 の［ファイルマネージャー］をご覧ください。

・録音時使用環境によってはノイズが入ることがあります。

サブメニュー

ボタン操作 FM 放送受信中 ▶ 長押し

録音
受信中の放送を録音します。P.29 の「FM 放送を録音する」をご覧ください。

FM 録音品質
FM 放送の録音時の音質を設定します。

＊ FM 録音はステレオ録音です。　＊録音経過時間および録音可能時間は画面下部に表示されます。

設定	ビットレート
低	96Kbps
中	128Kbps
高	192Kbps

プリセット登録／削除
受信中の周波数をプリセットチャンネルに登録／削除します。P.28の「手動でプリセットを登録する」をご覧ください。

オートプリセット
チャンネルを自動的にスキャンして登録します。P.28 の「 自動でプリセットを登録する 」をご覧ください。

プリセットリスト
保存されているプリセットチャンネルのリストを表示します。

FM 地域設定
韓国・アメリカ／日本／ヨーロッパを切り替えます。

テキストを見る

準備 テキストファイルはマイ コンピュータから E150 の［Text］フォルダに転送します。
＊ P.11 の「リムーバブルディスクとして使用する」をご覧ください。

■テキストファイルの文字コードを変更する

テキストファイルを E150 で表示させるため、文字コードを変更します。
＊ 10MB 以上のファイルは開けません。

① E150 で表示させたいテキストファイルをパソコンで開きます。
② ファイルから「名前を付けて保存」を選択します。
③ 保存画面の「文字コード」の項目で、「Unicode」に設定変更し保存します。

テキストを表示する

ボタン操作 メインメニュー［TEXT］□

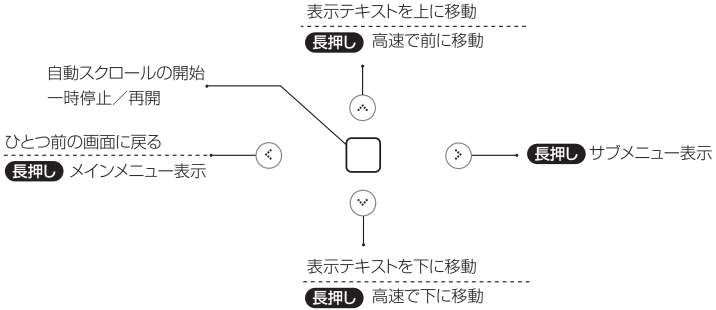
① メニューから選択方法を ▲▼ で選択し、□ または ▶ を押します。

ディレクトリリスト	［Text］フォルダ内のフォルダごとに表示　内部メモリ / 外部メモリ（SD 挿入時のみ）
ブックマークリスト	［ブックマーク登録］を設定したテキストの一覧（P.33 の［ブックマーク登録］をご覧ください）

＊ microSD カードを挿入した時は、［ディレクトリリスト］→［外部メモリ］から選択できます。
＊ ［Text］フォルダ以外のテキストファイルを表示するには、ファイルマネージャーから表示してください。
＊対応ファイル形式：TXT（文字コード：UNICODE，SHIFT-JIS）

② 表示するテキストを選択し、□ または ⁝ を押します。

■表示中の基本操作



＊テキストの表示中に □ を押すと、テキストが自動的にスクロールします。
＊テキストの途中で表示を中止するとその位置が記憶され、次回表示時にはその位置から再開されます。

サブメニュー

ボタン操作 テキスト表示中 ⁝ 長押し

＊自動スクロール中はサブメニューは表示されません。自動スクロールを停止してから行ってください。

画面移動

∴ ∵を押したときに表示を移動する量を指定します。[%]

自動スクロール速度

自動スクロール実行時の、スクロール速度を指定します。[(遅い←) 3/4/5/6/7 (→速い)]

文字サイズ

文字サイズを指定します。[小 / 標準 / 大]

ブックマーク登録

表示中のテキストをブックマークに登録します。

ファイル削除

選択したファイルを削除します。(削除したファイルは元に戻りません)

録音する

E150 の録音機能は内蔵マイク録音、外部マイク録音、ライン入力録音から選択できます。

内蔵マイクで音声を録音する

ボタン操作 メインメニュー[REC] □ → [内蔵マイク]

① メインメニューの［REC］から［内蔵マイク］を選択して □ を押します。

② 画面に「待機中」が表示されたら □ または ⁝ を押して録音を開始します。

＊録音中に □ を押すと一時停止／録音再開できます。

③ 録音中に ⁝ を押すと、録音を終了します。

＊内蔵マイクから録音した音声は、モノラルになります。
＊録音中は音量の調整ができません。
＊録音待機中に ⁝ を長押しし、サブメニューの［録音品質］で、録音時の音質を設定できます。P.36 の［録音品質］をご覧ください。
＊内部メモリに保存した場合は、VOICEYYMMDDXXX.WMA（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。

外部マイクで音声を録音する

ボタン操作 メインメニュー[REC] □ → [外部マイク]

準備 E150 の外部入力端子（ ）に外部マイクを接続します。

① メインメニューの［REC］から［外部マイク］を選択して □ を押します。

② 画面に「待機中」が表示されたら □ または ⁝ を押して録音を開始します。

＊録音中に □ を押すと一時停止／録音再開できます。

はじめに Music Videos Pictures FM Radio Texts Recordings File Manager Settings

③ 録音中に ⁝ を押すと、録音を終了します。

＊録音中は音量の調整ができません。
＊録音待機中に ⁝ を長押しし、サブメニューの［録音品質］で、録音時の音質を設定できます。P.36 の［録音品質］をご覧ください。
＊内部メモリに保存した場合は、EXMICYYMMDDXXX.WMA（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。
＊外部マイクの相性やご使用環境によりノイズが入る場合がございます。

外部オーディオ機器から録音する

ボタン操作 メインメニュー[REC] □ → [ライン入力]

CD ラジカセやコンポなどのオーディオ機器と E150 を接続して、パソコンを使わずに音楽を取り込みます。

準備 オーディオケーブルを使い、E150 の外部入力端子（ ）とオーディオ機器のラインアウト端子を接続しておきます。

① メインメニューの［REC］から［ライン入力］を選択して □ を押します。

② 画面に「録音待機中」が表示されたら □ または ⁝ を押して録音を開始します。

＊録音中に □ を押すと一時停止／録音再開できます。

③ 録音中に ⁝ を押すと、録音を終了します。

＊録音中は音量の調整ができません。
＊録音待機中に ⁝ を長押しし、サブメニューの［録音品質］で、録音時の音質を設定できます。P.36 の［録音品質］をご覧ください。
＊内部メモリに保存した場合は、AUDIOYYMMDDXXX.WMA（YY：年、MM：月、DD：日、XXX：保存番号）となります。

・録音時使用環境によってはノイズが入ることがあります。

サブメニュー

ボタン操作 録音スタンバイ中に 長押し

■録音スタンバイ状態のときのサブメニュー

録音品質

録音時の音質を設定します。

＊録音経過時間および録音可能時間は画面下部に表示されます。

設定	ビットレート
低	96Kbps
中	128Kbps
高	192Kbps

録音に関する注意

空き容量が不足している、バッテリが不足している場合は録音が開始されません。

オートシンク（無音曲間自動分割）

ライン入力録音中に設定した秒数の無音状態を感知すると自動的に 1 曲として区切り、再び音を感知すると録音を再開します。[オフ～ 8 秒]

外部入力ボリューム

外部機器から録音するときの音量を設定します。[1 ～ 7]

＊録音したファイルは［ファイルマネージャー］の［内部メモリ］→［Recordings］→［Voice］に保存されます。

＊録音したファイルの再生／削除は、P.38 の［ファイルマネージャー］をご覧ください。

録音したファイルの名前を編集する

■ 録音した音声ファイルのファイル名を変更する

① E150 をパソコンに接続し、PC の「コンピュータ」（または「マイ コンピュータ」）に表示される E150 の「Recordings」フォルダ内の該当フォルダを表示します。フォルダ構成は右下を参照ください。

② 名前を変更したいファイルを選択し、右クリックから「名前の変更」で変更します。

＊音声ファイルを別のフォルダ（例：「Music」フォルダ）に移動することもできます。

録音したファイルを保存する

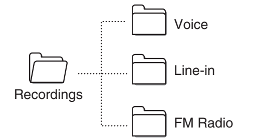
■ 録音した音声ファイルのファイルをパソコンに保存する

① E150 をパソコンに接続し、「マイ コンピュータ」から E150 の「Recordings」フォルダ内の該当フォルダを表示します。

② 保存したい録音ファイルを、パソコン上の好きな場所にドラッグします。ファイルがパソコンに保存されます。

＊元のファイルは E150 に残りますので、不要であれば削除してください。

［Recordings］フォルダの構成



ファイルマネージャー

E150 に保存されたすべてのファイルを直接選択して表示・再生できます。

ファイルを表示・再生する

ボタン操作 メインメニュー [FILE] ▢

① メインメニュー［FILE（ファイルマネージャー）］を選択して ▢ または ▸ を押します。
② 内部メモリ／外部メモリ（microSD 挿入時のみ）を ▴ ▾ で選択し、▢ または ▸ を押します。
③ ▴ ▾ で表示・再生したいファイルが保存されているフォルダを選択し、▢ または ▸ を押します。
④ 表示・再生したいファイルを選択したら、▢ を押します。
＊ E150 で表示・再生できない形式のファイルは、ファイル名を見ることだけが可能です。

保存したファイルを削除する

ボタン操作 メインメニュー [FILE] ▢

E150 に保存されたファイルは下記の方法で削除することができます。
① メインメニュー［ファイルマネージャー］を選択して ▢ または ▸ を押します。
② 内部メモリ／外部メモリ（microSD 挿入時のみ）を ▴ ▾ で選択し、▢ または ▸ を押します。
③ ▴ ▾ で削除したいファイルが保存されているフォルダを選択し、▢ または ▸ を押します。
④ ▴ ▾で削除するファイルを選択し、▸ を長押しします。
⑤ 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選択し ▢ を押します。
＊再生中のファイル削除はできません。

削除に関する注意
.BIN .SYS .DRM などで終わる名称のファイルは、E150 の動作に必要なファイルです。ご自身でコピーしたファイル以外は、間違って削除しないようご注意ください。

設定する

E150 の各種機能を用途に合わせて設定できます。

現在時刻設定

ボタン操作 メインメニュー [SETTING] ▢ →［現在時刻設定］

① メインメニューで［SETTING］を選択して、▢ を押します。
＊設定メニューの項目が表示されます。
② ［現在時刻設定］を選択して、▢ または ▸ を押します。
＊日付・時刻設定画面が表示されます。
③「月」が選択されている状態で ▴ ▾ を押して月を設定したら、▸ を押し、項目を「日」に移動して、▴ ▾ を押して日を設定します。
以下同様にして、年、時、分を設定します。

画面

ボタン操作 メインメニュー [SETTING] ▢ →［画面］

バックライト

何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動的にバックライトが消灯する時間を設定します。
[5 秒／ 10 秒／ 1 分／ 5 分／ 30 分]

明るさ

画面の明るさを設定します。[低（暗い）/ 中（標準）/ 高（明るい）]

テーマ

メインメニューの表示パターンを設定します。[テーマ 1 ／テーマ 2]

タイマー

ボタン操作 メインメニュー [SETTING] ▢ → [タイマー]

自動電源オフ

何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにする設定をします。
[オフ／ 30 秒／ 1 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分]

スリープタイマー

設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにする設定をします。
[オフ／ 10 分／ 30 分／ 1 時間／ 2 時間／ 5 時間]

はじめに Music Videos Pictures FM Radio Texts Recordings File Manager Settings

拡張設定

ボタン操作 メインメニュー [SETTING] ▢ → [拡張設定]

DB 再作成

E150 内のファイル情報データベースを再構築します。[はい／いいえ]

転送方式

E150 とパソコンを接続したときの接続方法を選択します。

MSC（UMS）	パソコンに接続した場合にリムーバブルディスクとして認識します。 iriver plus3 を使った転送方式
MTP	パソコンに接続した場合に Windows ポータブルデバイスとして認識します。XP 以降の Windows で使用できます。 Windows Media Player を使った転送方式

＊設定切替時プレーヤーがフォーマットされデータが消却されますので、ご注意ください。

内部メモリのフォーマット（初期化）

E150 に保存されているすべてのデータを消去します。[はい／いいえ]
＊必要なとき以外は実行しないでください。
＊初期化が完了するまで E150 の電源を切らないでください。
＊お使いのパソコンの OS によってフォーマット後のメモリ容量が変わることがあります。

外部メモリのフォーマット（初期化）

E150 にセットしてある microSD メモリを初期化します。[はい／いいえ]
＊保存されたファイルのすべてが削除されます。

システム情報

E150 のファームウェア情報、空き容量を表示します。

初期設定に戻す

すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。[はい／いいえ]

＊この操作を行っても、保存された音楽ファイルなどのデータは削除されません。

言語

ボタン操作 メインメニュー [SETTING] □ → [言語]

メニュー言語

メニュー表示などに使用する言語を設定します。

＊日本語他 18 ヶ国語から設定が可能です。

＊日本語表示に設定されていない場合は、[日本語] を選択し □ または ⁘ で設定してください。

国家

タグ表示の言語を設定します。

＊日本語他 40 ヶ国語から設定が可能です。

＊日本語表示に設定されていない場合は、[日本語] を選択し □ または ⁘ で設定してください。

＊日本語に設定されていない状態で楽曲を転送すると、文字化けする場合があります。

iriver plus 3 を使用する

iriver plus3 をインストールする

iriver plus3 は､様々なマルチメディアファイルを効率的に扱えるソフトウェアです。お持ちの PC から E150 へ､音楽･動画･画像ファイルの転送を簡単に行うことができます。

①同梱の iriver plus3 の CD-ROM を、PC の CD-ROM ドライブへセットしてください。
インストールの画面が現れます。

②「iriver plus3」をクリックし、画面にしたがってインストールを行ってください。

＊ 8cm 非対応の CD-ROM ドライブでは使用しないでください。

ご使用にあたって

iriver plus3 をご使用いただくには､転送方式を MSC に設定する必要があります。転送方式を切り替えると E150 はフォーマットされます。データが消去されますのでご注意ください。 P.41 の [設定] →[拡張設定] →[転送方式] をご覧ください。

■動作環境

･Windows® 2000/XP
-CPU：Intel® Pentium® II 233 MHz 以上　-メモリ：64 MB 以上
-ハードディスク容量：30 MB 以上の空き容量　-16 ビット サウンドカード
-Microsoft Internet Explorer version 6.0 以降　- 表示 : SVGA (1024x768 ピクセル) 以上の解像度

･Windows® Vista (Windows® Vista は 32 ビット版のみ対応)
-CPU：Intel® Pentium® II 800MHz 以上　-メモリ：512 MB 以上
-ハードディスク容量：20GB 以上の空き容量　-16 ビット サウンドカード
-Microsoft Internet Explorer version 6.0 以降　- 表示 : SVGA (1024x768 ピクセル) 以上の解像度

iriver plus3 のライブラリに楽曲を登録する

■オーディオ CD から音楽ファイルを作成する

オーディオ CD のファイルを iriver plus 3 のライブラリへ録音します。CD から録音した音楽ファイルはパソコンのハードディスクへ保存されますので、CD を取り出した後でも音楽を再生することが可能になります。

＊ CD を再生中は［CD から録音］ができません。「再生を停止しますか？」というメッセージが出たら「はい」をクリックしてください。

①iriver plus3 を起動させます。

＊初めて iriver plus3 を起動させると、メディアの追加ウィザードが開始されます。

②オーディオ CD をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

③ 画面左下の「CD 録音」をクリックした後、「リスト表示」をクリックします。



④ 曲情報を取得します。

CD トラックの楽曲情報が自動で表示されない場合は、画面右下の「CD 情報検索」ボタンをクリックし、AMG から CD の情報を取得します。インターネットの AMG CDDB（CD データベース）から音楽情報を検索して取得できます。

＊この機能を使用するには、お使いのパソコンがインターネットに接続されている必要があります。

＊ AMG のデータベースに該当の CD の情報がない場合、曲情報は取得されません。

⑤ 録音したい曲を選びます。

録音したい曲にチェックマークを入れます。



⑥「リッピング開始」ボタンをクリックします。



＊録音中はそれぞれのトラックに録音経過状態が表示されます。
＊録音を中止するときは「リッピング中止」ボタンをクリックします。

⑦ チェックを入れた楽曲のステータスが「終了」になったのを確認して、「リストを閉じる」ボタンをクリックします。



＊録音された音楽はライブラリの「すべての音楽」に追加されます。
＊録音された音楽は、Windows Vista の［ドキュメント］（XP の場合は［マイドキュメント］）フォルダ内の、［ミュージック］/［My Music］などのフォルダに保存され、CD なしでも音楽を再生できます。

音楽ファイル等をライブラリに追加する

■ライブラリの音楽ファイルについて

iriver plus 3 のライブラリリストには、オーディオ CD から取り込んだ音楽、インターネットからダウンロードした音楽、パソコンにすでに保存されている音楽を追加できます。

音楽ファイルをライブラリに追加すると、iriver plus 3 で再生したり、特定の曲だけを集めたプレイリストを作成して簡単に便利に音楽ファイルの管理や編集ができます。

■パソコンのハードディスクとライブラリリスト

ライブラリリストに音楽ファイルを追加すると、iriver plus 3 で活用できるデータベースとして登録されたことを意味し、音楽ファイル自体が iriver plus 3 内に保存されるわけではありません。音楽ファイル自体はパソコンのハードディスク内に保存された状態のままです。

ハードディスク内でファイルを移動、削除、ファイル名の変更をした場合、iriver plus 3 はこれらのファイルの検出、転送ができなくなります。そのため、もう一度ライブラリリストに追加することが必要になります。

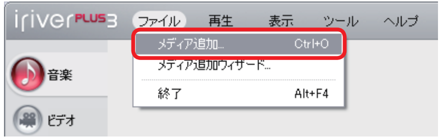
＊ 検出されなかったファイルは⚠マークが表示されます。

■動画，画像ファイルについて

動画や画像ファイルも iriver plus 3 を使ってライブラリに追加できます。

パソコンに保存されている音楽ファイル等をリストに追加する

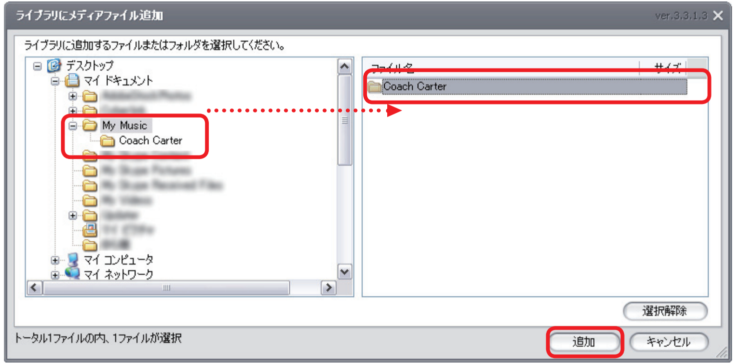
①「ファイル」－「メディア追加」を選択します。



② 保存先から追加したいファイルやフォルダを選びます。

1. ウィンドウの左側からファイルが保存されているフォルダを選択します。
2. 選択したフォルダ内のデータは右側のウィンドウに表示されます。追加したいファイルやフォルダを選び、「追加」ボタンをクリックします。

＊ 複数のファイルやフォルダを選択したい場合はキーボードの「Ctrl」を押しながらフォルダをクリックします。



次へ

音楽ファイル等を E150 へ転送する

メディアウィンドウのライブラリリストにある音楽ファイル等を E150 に転送します。

転送時の注意

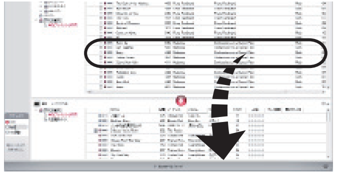
E150 の空き容量が不足していると、転送が中断されます。ご注意ください。

① E150 とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

② リストから転送したいファイルを選択します。

複数のファイルやフォルダを選択するときは［Ctrl］キーや［Shift］キーを押しながらファイルを選択していきます。

③ 選択したファイルを E150 側のウィンドウにドラッグ & ドロップします。

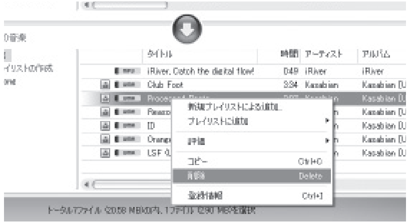


＊転送ボタンを押しても転送が可能です。
＊ Shift キー：連続した複数の項目を一気に選択するときは、Shift キーを押しながら最初と最後の項を選択します。
＊ Ctrl キー：連続しない複数の項目を選択するときは、Ctrl キーを押しながら一つずつ選択します。
＊フォルダを分けたい場合は、最初にフォルダを作成し、そこへドラッグ＆ドロップします。
＊転送の状況はステータスバーに表示されます。
＊転送が完了したら、音楽ファイル等は プレーヤー側のウィンドウに表示されます。
＊ 511 文字（パス名とファイル名を合わせた半角英数字）を超えるファイルは転送できません

E150 の音楽ファイル・プレイリストを削除する

① 右クリックで「削除」を選択します。

選んだファイル（またはプレイリスト）上で右クリックをし、［削除］を選択します。



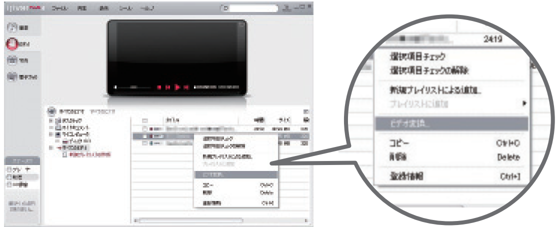
② 確認画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

動画ファイルを変換・転送する

iriver plus3 でお持ちの動画を E150 が再生できる WMV 形式に変換することができます。

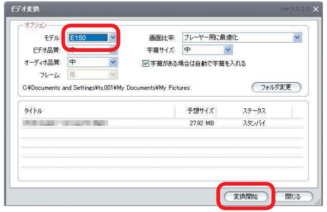
① 画面左上の「ビデオ」を選択し、「ビデオ」モード画面にします。

② 変換したい動画ファイルの上でマウスを右クリックすると「ビデオ変換」という項目がありますので、左クリックをして選択します。



「ビデオ変換」

③「ビデオ変換」の画面が現れます。左上のモデル欄を「E150」に設定し、右下の「変換開始」ボタンを押します。自動的にファイルの変換が始まります。



④ E150 とパソコンを USB ケーブルで接続し、iriver plus3 の「ビデオ」モード画面で変換したファイル（タイトルの前に［E150］の表示）にチェックを入れ矢印ボタンを押すか、そのファイルを画面下部へドラッグドロップすると、ファイルが転送されます。

Windows Media Player11 を使用する

Windows Media Player11 がもつ様々な機能をご利用いただくには、転送方式（P.41）を MTP に設定することでその機能を十分に発揮できます。

＊ MSC (UMS) モードでご利用になっていたデータ（iriver plus3 で転送したデータ）は、MTP モードへ変更することによりフォーマットされ消えてしまいますので、ご注意ください。

CD の録音

① CD を PC の CD-ROM ドライブへセットします。Windows Media Player11 も起動します。
② Windows Media Player11 の「取り込み」タブを選び、録音したい曲のチェックボックスをクリックしてチェックをいれます。「取り込みの開始 (S)」ボタンを押すと、録音を開始します。
③ 録音されたファイルは、Windows の My Documents の中の My Music フォルダ（XP)、またはユーザー名のフォルダの中の MUSIC フォルダ（Vista）に保存されます。

＊詳しくは、弊社サポートサイトをご覧ください。(P.63)

ファイルの転送

① E150 を USB ケーブルを使用して PC に接続し、Windows Media Player11 を起動します。
② Windows Media Player11 の同期の画面を開きます。画面内に表示されているファイルを、マウスで画面右側の同期リストへドラッグ＆ドロップします。
③「同期の開始 (S)」をクリックすると、転送が開始されます。

ファームウェアアップグレード

ファームウェアとは？

ファームウェアとは、E150 を動かすための基本ソフトウェアです。iriver 社では、E150 に新機能を追加したり、使いやすさを向上させるため、ファームウェアアップグレードを提供します。

アップグレードの方法につきましては、「 アイリバーサポートセンター 」(P.63) にてご確認ください。

バージョンの確認

ボタン操作 メインメニュー [SETTING] ▶ [拡張設定] ▶ [システム情報]

お使いの E150 のファームウェアのバージョンは、[設定] メニューの [拡張設定] → [システム情報] で確認することができます。

故障かなと思ったら

状況	原因	解決方法
電源がオンにならない	バッテリが不足している	USB ケーブルでパソコンと接続し、充電してください。
	E150 がシステムエラー状態	本体左側面のリセット穴にクリップなど先の尖っていないものを挿し込んで、リセットしてください。
接続しても充電されない	USB ケーブルの接続不良	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 USB ハブを使用している場合は、パソコンの USB 端子に直接接続してください。
音が聞こえない	音量が 0 になっている	本体上面のボリュームボタンを押して、正しい音量に変更してください。
	イヤホンの汚れ	イヤホンプラグまたは接続端子が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、汚れをふき取ってください。
	音楽ファイルの破損	他の音楽ファイルでも音が出るか確認してください。特定のファイルだけ音が出ない場合は、CD から作成し直す、バックアップと入れ替えるなどの対策を試してください。
ボタンが操作できない	ホールドスイッチがロック状態になっている	ホールドスイッチのロックを解除してください。
音楽ファイルの再生中に雑音がする	イヤホン端子の接触不良	市販の端子クリーナーで、イヤホン端子に付着した汚れを清掃してください。
	音楽ファイルの破損	他の音楽ファイルでも同じ雑音が出るか確認してください。特定のファイルだけで雑音が出る場合は、CD から作成し直す、バックアップと入れ替えるなどの対策を試してください。

状況	原因	解決方法
ファイルの転送に失敗する	USB ケーブルの接続不良	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 USB ハブを使用している場合は、パソコンの USB 端子に直接接続してください。
画面に文字が表示されない。もしくは正しく文字が表示されない	言語設定が正しくない	[SETTING]-[言語] で、お使いの言語を選択してください。
FM 放送の受信状態が悪く、雑音がひどい	イヤホンが外れている、接触不良	イヤホンがしっかり接続されているか確認してください。 ※イヤホンコードは、ラジオのアンテナの役割をします。イヤホンがプレーヤーに接続されていないとラジオの受信状態は悪くなります。
	イヤホンコードの向きが悪い	プレーヤーとイヤホンの位置を調整してください。
	周囲で雑音が発生している	周辺にある電気製品の電源をオフにしてみてください。
	イヤホンの汚れ	イヤホンプラグまたは接続端子が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、汚れをふき取ってください。
音声が録音できない	空き容量が不足している	不要なファイルを削除してください。
	バッテリが不足している	充電してください。
ダイレクト録音したファイルの音が小さい。または、うまく録音できない。		お使いのオーディオケーブルが「抵抗あり」の可能性があります。「抵抗なし」のケーブルをお使いください。
液晶画面がたびたび消える	自動電源オフ機能が設定されている	自動電源オフの設定をお好みの時間に設定し直してください。

対応ファイル形式一覧

	ファイル形式	ビットレート / コーデック / 他
Music	MP3	8 ～ 320Kbps
	WMA	8 ～ 320Kbps
	OGG	Q1 ～ Q10
	FLAC	0 ～ 8
Text	TXT	Unicode text, local code text (Shift-JIS)
Picture	JPG	Baseline JPG (Progressive JPG 非対応)
	BMP	
	PNG	
	GIF	

	ファイル形式	ビットレート / コーデック / 他	
Video	AVI	Video	Xvid SP 30fps 800kbps
		Resolution	320 × 240
		Audio	MP3 8 ～ 320kbps
	WMV	Video	WMV9 SP 30fps 512kbps
		Resolution	320 × 240
		Audio	WMA　5 ～ 384kbps

製品仕様

モデル		E150
主な機能	再生・視聴・表示	音楽 / 動画 / 画像 /FM ラジオ / テキスト / 録音（FM/ ボイス）

分類	項目	仕様
本体寸法	(W) × (H) × (D)mm	約 49.0（W）× 95.0（H）× 13.0（D)mm
重量	本体	約 64.5g
電源	充電池タイプ	リチウムポリマー内蔵充電池
充電時間	USB による充電	約 3.5 時間
ディスプレイ	タイプ	TFT カラー LCD
	サイズ	2.4inch
	解像度	320 × 240 pixel
	表示色	26 万 2 千色
メモリー	タイプ	NAND フラッシュメモリー
スロット	カードスロット	microSD カードスロット
	対応カード※1	SDHC 8GB まで対応
USB	USB ストレージクラス	対応
	インターフェイス	USB 2.0，ミニ端子

※ 1　すべてのメーカー / 種類の microSD カードの動作を保証するものではありません。

分類	項目	仕様
オーディオ	周波数特性	20Hz ～ 20KHz
	イヤホン出力	（L）17mW ＋（R）17mW（16 Ω）
	スピーカー出力	1W × 2
音楽再生	対応ファイル形式	MP3（MPEG1/2/2.5 Layer3），WMA，OGG，FLAC
	対応レート	MP3：8kbps ～ 320kbps，WMA：8kbps ～ 320kbps，OGG：Q0 ～ Q10，FLAC：0 ～ 8
	S/N 比	90 dB
	ID3 タグ	ID3 V1.1，V2.2，V2.3，V2.4
	DRM※2	対応
	イコライザー	プリセット：7 種類（Normal/Rock/Pop/Classic/Soft/Jazz/DBB） その他：カスタム EQ/SRS WOW HD
	再生モード	通常再生 /1 回リピート /1 曲リピート / シャッフル / シャッフルリピート
	区間リピート	A-B リピート（繰り返し回数 / 繰り返し間隔設定可）
	学習モード	オフ /3/10/20/30/60/120/180 秒
	その他の機能	フェードイン
動画再生	対応ファイル形式	AVI，WMV
画像表示	対応ファイル形式	JPEG，BMP，PNG，GIF
	解像度※3	JPEG，BMP：最大 4500 × 4500pixel， PNG：最大 3000 × 3000pixel，GIF：最大 2000×2000pixel
	その他の機能	スライドショー，ズーム機能

分類	項目	仕様
FM ラジオ	周波数	76.0MHz ～ 108.0MHz
	地域	韓国 / アメリカ，日本，ヨーロッパ
	アンテナ	イヤホンコード
テキスト	対応ファイル形式	TXT
録音	録音機能	FM 録音，ボイス録音，ライン入力対応
	録音ファイル形式	WMA
	録音品質 （サンプリングレート） （ビートレート）	44kHz
		高 192kbps/ 中 128kbps/ 低 96kbps
表示言語	言語数	18 ヵ国語（中国語は簡体 / 繁体）
連続再生時間	音楽	約 17 時間（MP3，128kbps，Vol20，EQ ノーマル，LCD オフ）
	動画	約 5 時間 （AVI QVGA、384Kbps、30fps、オーディオ /MP3、128Kbps、44.1KHz、ボリューム 20 の場合）
対応 OS	Windows※4	Windows Vista/Windows XP/Windows 2000
ボリューム	ステップ	40
環境条件	動作環境	-5℃～ +40℃

※ 2　すべての音楽サイトに対応しているわけではありません。
※ 3　ファイルサイズが大きいと表示に時間がかかることがあります。
※ 4　Vista は 32 ビット版対応。 MTP（Media Transfer Protocol）は XP 以上対応。

著作権、認証、登録商標、免責事項

著作権

　iriver 社は、本書に関するすべての特許権、商標権、文書権、および知的所有権を所有しています。iriver 社の承諾を得ていない場合は、本書のいかなる部分も複製することができません。違法な方法で本書を利用した場合は、罰せられることがあります。知的所有物を含むソフトウェア、オーディオ、および動画は著作権法および国際法によって保護されています。ユーザーが本製品によって作成されたコンテンツを複製または配布する場合、その責任はユーザー自身が負うことになります。本書中の例で使用する会社、組織、製品、個人、およびイベントは実際に存在するものではありません。iriver 社は、本書を利用して、本製品を特定の会社、組織、製品、個人、およびイベントに結び付けようとは考えておりません。また、本書の内容から何らかの別の意味を導き出そうとも考えておりません。お客様には、著作権や知的所有権を遵守していただく必要があります。

認証

　本製品は以下の認証規格を取得しています。KCC、CE、FCC ClassB

登録商標

・Windows 2000, Windows XP, Windows Vista, Windows Media Player は、Microsoft Corp. の登録商標です。

・SRS(●) は、SRS Labs, Inc. の登録商標です。

免責事項

　お客様が本製品を誤用したため、あるいは不適切な操作をしたために人身事故や他の損害、偶発的な被害を受けた場合、製造者、輸入業者、および販売店は、このような損害に対して責任を負いかねます。

　本書の情報は現行の製品仕様に合わせて作成したものです。予告なく、仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

お客様サポート

製品サポート総合案内 http://www.iriver.jp

iriver の Web サイトの「お客様サポート」には、製品別に Q&A（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア、ソフトウェア、取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

カスタマーサポート

①製品保証書の記入事項

　本製品のパッケージには、製品保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、製品保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

②修理をご依頼の前に

　iriver の Web サイト（http://www.iriver.jp）の Q&A（よくある質問）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー サポートセンターまでご相談ください。お客様がプレーヤーに録音したファイルの損失ならびに障害につきましては、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。修理や点検に出す際には必ずバックアップをお願いいたします。修理や点検のためにプレーヤーが初期化される場合があります。

アクセサリー・オプション品に関するご注文は

03-6739-3803 受付時間 9:00～20:00（土・日・祝祭日、年末年始を除く）

ご購入後のサポートに関するお問い合わせは

アイリバー サポートセンター

0570-002-220 受付時間 10:00～18:00（土・日・祝祭日、年末年始を除く）

http://www.iriver.jp/support/ E-mailでのお問い合せはホームページのメールフォームをご利用ください。

E150 2009.11001